

工事説明書

浴室テレビ
DC-BTV19

安全上のご注意

必ずお守りください

- 本製品の取付工事は必ず、**電気工事士の資格**を有した施工業者様が行ってください。
- 施工業者様の取付時の事故、およびご購入者様の使用中の事故による生命への危害、財産への損害を防止するため、工事前に本書をよくお読みになり、正しく安全に取付工事を行ってください。
- 本書の工事手順や取付場所の条件に従わない工事が原因で生じた故障・損害・事故については、期間内であっても保証の対象外となります。
- 工事中、取扱説明書に記載した手順を行っていただく箇所がありますので、取扱説明書もお手元にご用意ください。また、取扱説明書に記載の安全上のご注意もよくお読みになり、必ずお守りください。
- 本書および取扱説明書（保証書付）は施工後に必ずご購入者様にお渡しください。



危険

人が死亡または重傷を負う危険が非常に高い内容を記載しています。



警告

人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を記載しています。



注意

傷害、または物的損害の発生が想定される内容を記載しています。

■絵表示と絵表示の意味



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

危険

感電・漏電防止



- AC100Vの回路には、必ず漏電遮断器(漏電ブレーカー)および屋内開閉器(ブレーカー)を設置してください。
- AC100Vの配線工事は、ブレーカーを落とした状態で行い、動作確認時以外は工事が終了するまで通電しないでください。
電源の接続や固定が不完全な場合、火災や漏電の危険があります。
- 本製品やアンテナの取付工事中、アンテナや電源ケーブル配線中に雷が鳴り始めたら工事を中断してください。
落雷の危険が無くなるまで、配線や機材から離れてください。
- 濡れた手で工事を行ったり、ブレーカーに触れないでください。
感電の危険があります。

警告

電源に関するご注意



- 必ずAC100V(50/60Hz)電源を使用してください。
発熱・発火・故障・感電の危険があります。
- アース線を接続してください。
必ず、電源線を接続する前にアース接続を行ってください。また、アース接続を外すときは、必ず先に電源線を抜いてください。

改造の禁止



- 本製品や電源ボックス、付属のケーブル類を分解・改造しないでください。
発熱・発火・故障・漏電の危険があります。

アンテナ線工事について



- 落雷から本製品を保護するため、アンテナと本製品の間には必ず保安器を設置してください。
- 本製品とアンテナ端子に供給される信号強度が55～80dB(μ V)の範囲になるようにブースターやアッテネーターを使用し調節してください。
本製品はアッテネーターを内蔵しています。取扱説明書14ページを参照してください。
- 作業前にアンテナ線の芯線と編組線間にDC/AC25V以上の電圧が加わっていないことを確認してください。
故障の危険があります。

注意

設置場所について



- 本製品はサウナ室には設置しないでください。
- ミストサウナ機能、浴室暖房、浴室乾燥機能のある浴室の場合、それらの機能により室温が50℃以上になる場合は設置できません。
故障の原因になります。設置場所については5ページも参照してください。
- 電源ボックスはホコリの多い場所に設置しないでください。
- 電源ボックスを保温材で覆わないでください。
発熱・発火・故障の原因になります。



- 施工中、または施工後に本製品や電源ボックスが雨水等に濡れる可能性がある場合、防護用の簡易ケースなどで防水の処置を行い、必要があればコーキング処理も行ってください。
故障の原因になります。
- 在来工法の浴室で浴室壁内に蒸気が侵入する場合は、本体背面や配線が蒸気に触れないよう、遮蔽物を設置してください。(5ページ参照)
故障の原因になります。

1. 工事前の確認

受信可能なチャンネル

- 地上デジタル放送 (UHF13～62ch)
- CATV パススルー (VHF1～12ch, UHF13～62ch, CATV C13～C63ch) 対応
- BS デジタル放送 (BS000～BS999)
- 110°CS デジタル (CS000～CS999)

※正規の周波数でない場合は、受信できません。

※地上デジタル放送を CATV で放送している場合

- ・本製品は周波数変換パススルー方式の信号は受信可能
- ・トランスモジュレーション方式の信号は受信不可能

外部機器・外部スピーカーとの接続

●HDMI 外部機器を接続する場合

本体背面の HDMI ケーブルに付属の HDMI ケーブルを接続し、片側の端子を浴室外（脱衣所等）へ引き出してください。

●外部スピーカー・システムを接続する場合

本体背面の音声出力端子に接続してください。外部スピーカーの設置は外部スピーカーの取扱説明書を参考に、適切な方法で浴室壁内に設置してください。

※外部機器・外部スピーカーを取り付けた場合、コーキングを行う前に本体の初期設定と試験動作を行ってください。

同梱品について

工事を行う前に不足や破損がないか確認してください。

✓	品名	数量
	テレビ本体	1
	電源ボックス	1
	電源接続ケーブル (5m)	1
	取付金具	1
	取付金具用ビス (4×30mm)	7
	テレビ本体固定ビス (M3×6mm)	2
	アース線	1
	アース線取り付けビス	1

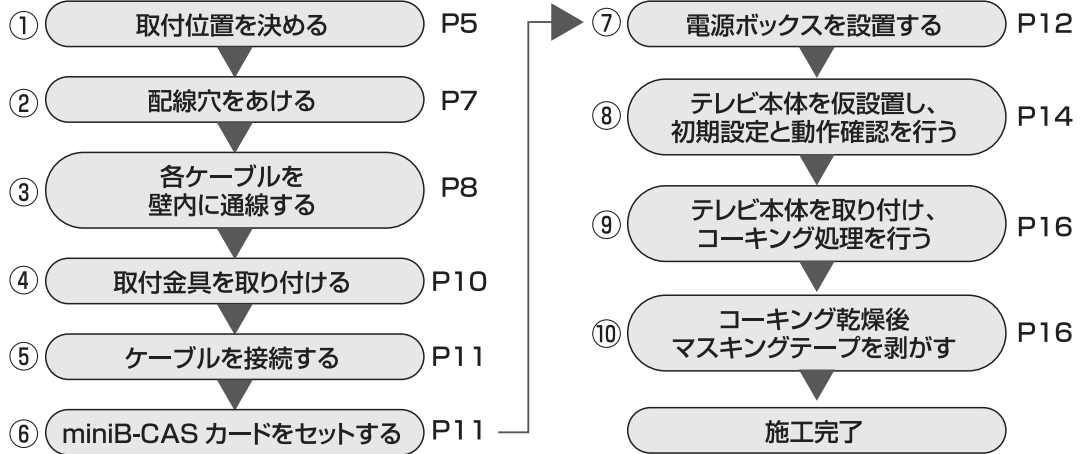
✓	品名	数量
	HDMI ケーブル (10m)	1
	リモコン	1
	リモコン用電池	1
	リモコンホルダー	1
	リモコンホルダー取付ビス (3×25mm)	2
	miniB-CAS カード	1
	取扱説明書 (製品保証書付き)	1
	工事説明書 (本書)	1

別途で用意いただくもの

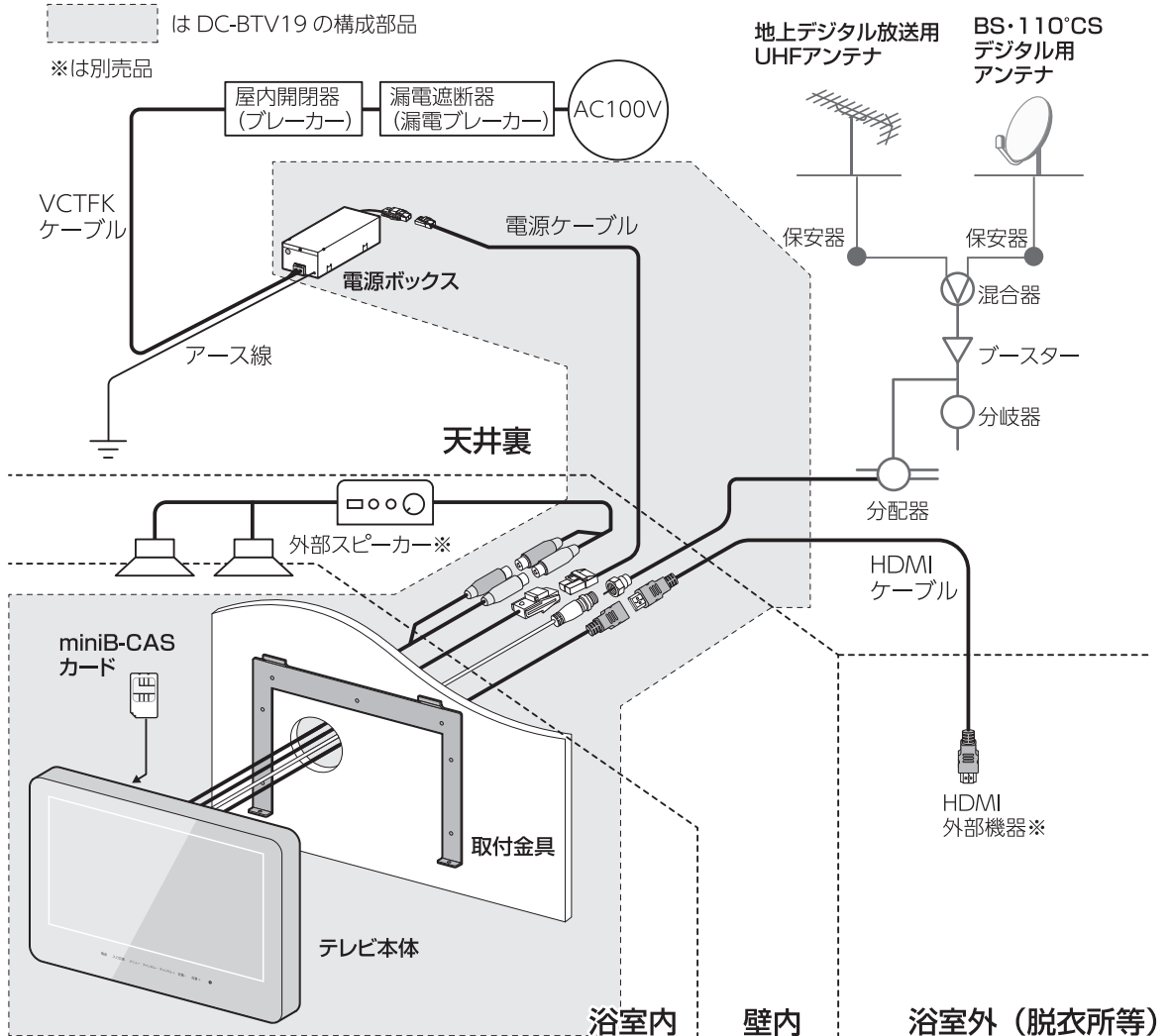
✓	品名	数量
	補強板 (厚さ 9mm 以上の防水合板) ※浴室内壁の強度が低い場合	1
	保護管 (PF 管など) φ28mm 以上	1 式
	自己融着テープ	1 式
	延長アンテナケーブル	1 式
	F 型接栓	1 式

✓	品名	数量
	HDMI コンセント	1 式
	コーキング剤	1 式
	マスキングテープ	1 式
	工具類	1 式
	アンカー、ビス類 (付属品を使用しない場合)	任意

工事手順



施行図・配線概略図



2. 工事手順

① 取付位置を決める

【取付推奨位置】

入浴時、テレビ画面を正面に見ることのできる位置に取付けます。

浴槽の上面からテレビ本体の下面まで：

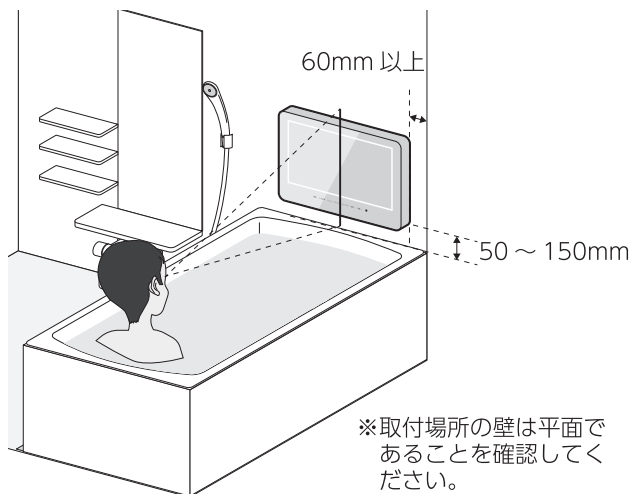
50～150mm

浴室壁からテレビ本体の側面まで：

60mm 以上あげてください。

※テレビ本体を高い位置に取り付けると、入浴時に画面が適切に見えなくなります。

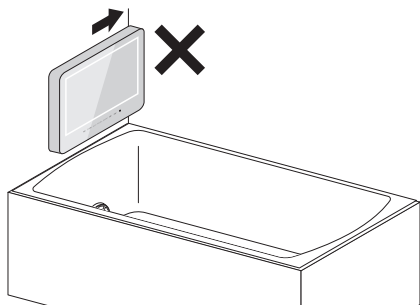
※浴室壁の加工およびテレビ本体の取付方法は浴室壁の状態によって異なりますので、施工業者様において適切な取付けをご判断の上、行ってください。



【取付不可の場所】



浴室の壁にぴったり付けて設置しないでください。壁に付けたり、近すぎると適切にコーキングできないため、テレビの背面や浴室壁内に浸水する原因になります。



テレビ本体の変形・故障の原因となりますので、下記のような高温になる場所には設置しないでください。

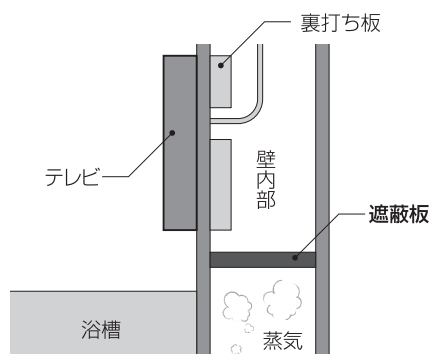
- 室温が50℃以上になる場所：サウナ・スチームサウナ・ミストサウナなど
- 浴室乾燥機からの温風が直接あたり、高温(50℃以上)になる可能性がある場所
- 直射日光が当たる場所
- 給湯栓やシャワーなどからの湯が直接かかる場所
- その他、特殊な機能のある浴室の場合は設置についてご注意ください。不明点は巻末連絡先までお問い合わせください。



在来工法の浴室では、浴室の壁内に蒸気が入る構造になっている場合があります。

その場合、浴室壁内や通線への蒸気が入らないよう遮蔽物を設置してください。

テレビ背面に蒸気が侵入すると、故障の原因となります。



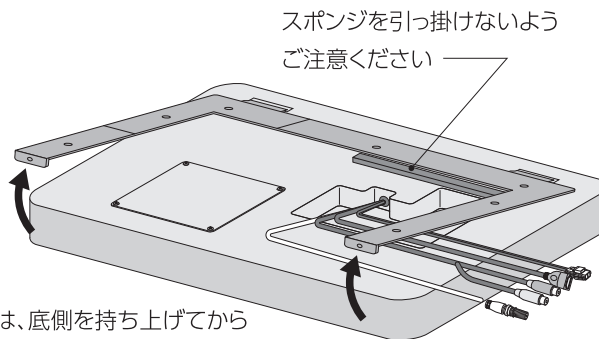
【取付時のご注意】



- テレビ本体の取付けは、ユニットバス設置後に行ってください。
ただし、設置後の浴室壁の加工が難しい場合は、設置前に加工を行ってください。(裏打ち板の加工 → 次ページ参照)
- テレビ本体の取付位置は、給湯用リモコンの配線や水栓などと干渉しないようご確認ください。
- 浴室壁の裏面にリブがある場合は、リブを避けて取付穴の位置を調整してください。
- 取付金具の取扱時は、端面などでケガをしないようご注意ください。

【開梱時のご注意】

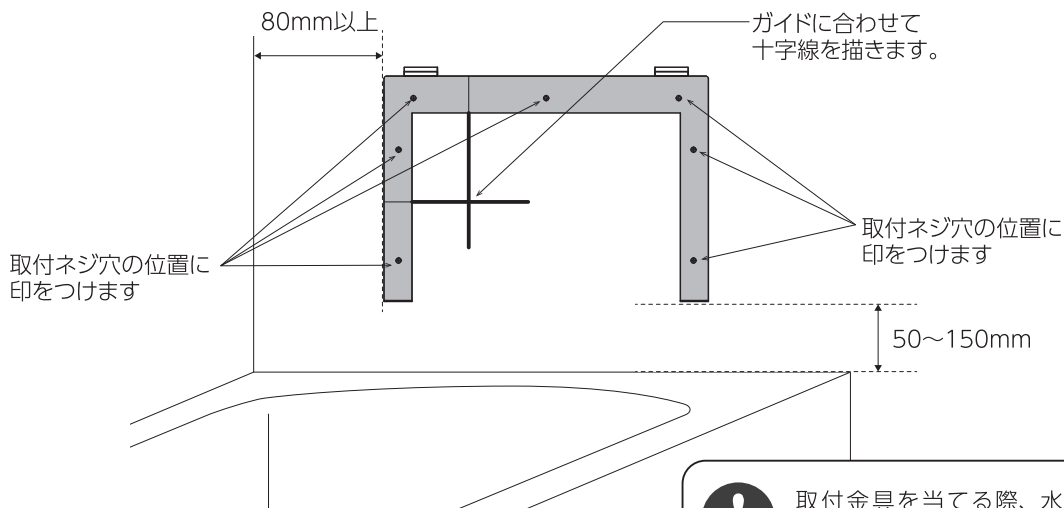
取付金具はテレビ本体にセットされた状態で出荷されています。取り外す際は、底側を持ち上げてから上部のツメを抜くようにし、スポンジを傷つけないようご注意ください。



取付金具は、底側を持ち上げてから外してください

配線穴、ビス穴の位置に印をつけます

- ① 浴室壁の取付け予定位置に取付金具を当てます。
※取付金具とテレビ本体の寸法差にご確認ください。テレビ本体は取付金具より、左右各20mm大きいです。
<取付け位置寸法>
浴槽の上面から取付金具下辺まで50~150mm
浴室壁から取付金具側面まで80mm以上
※取付け予定位置の浴室壁が平面であることを確認してください。
- ② 取付金具に刻印されているラインに合わせて、浴室壁に十字線を書きます。
- ③ 取付金具の取付穴の位置7箇所に印を付けます。



取付金具を当てる際、水平になっているかご注意ください。

② 配線穴をあける

浴室壁の補強（浴室壁の強度が低い場合）

【浴室加工時のご注意】

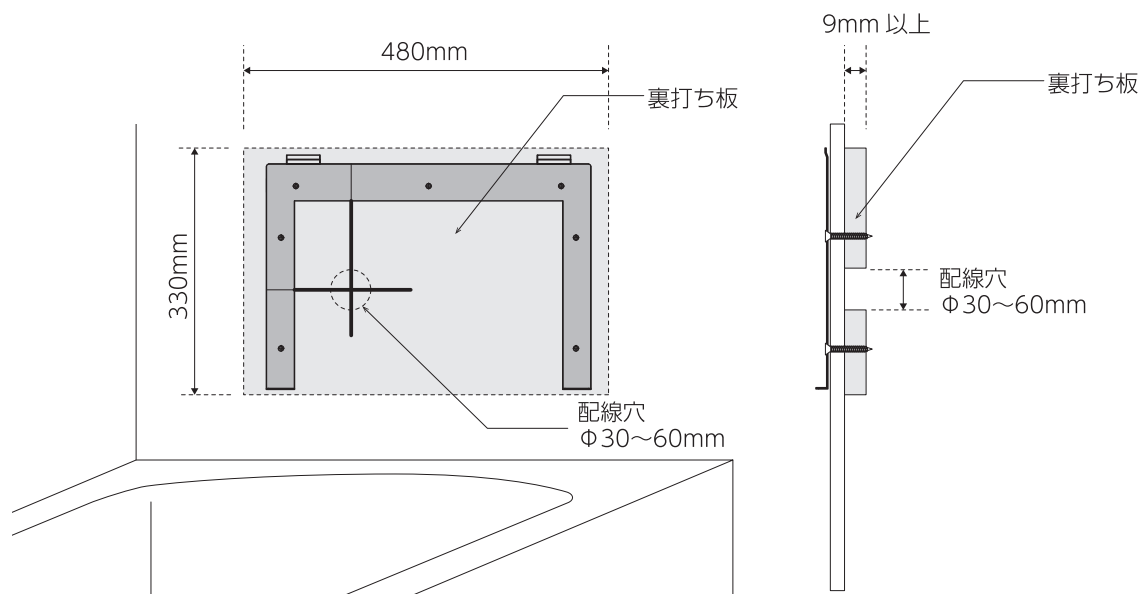


- 浴室壁に十分な強度がない場合は、取付金具の取付ネジの外側（壁内）に補強用の裏打ち板（防水合板）を取付けてください。
- 裏打ち板は取付金具の取付けネジを打つ際に剥がれないよう、確実に取付けてください。
- ユニットバス設置後の施工が難しい場合は、ユニットバス設置前に事前に浴室壁の加工を行ってください。

裏打ち板は下記の寸法を目安に加工し、取付けを行ってください。

※浴室壁の裏面にリブなどがある場合や凹凸がある場合は、裏打ち板を切断、分割して取付けてください。

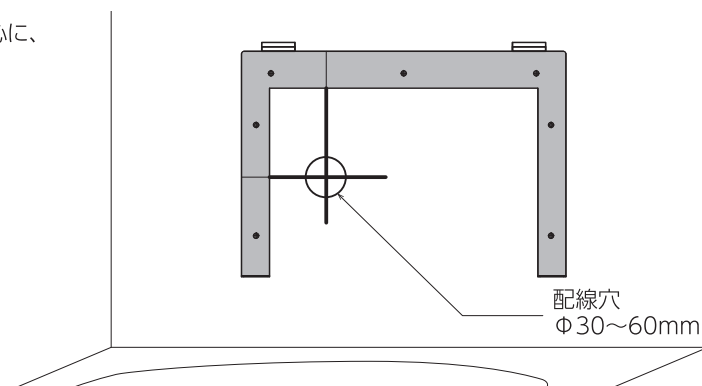
※浴室壁の裏面にパネル保温材がある場合は、裏打ち板の大きさに沿ってくり抜いてから取付けてください。



浴室壁に十分な強度がある場合、この手順はスキップしてください。

浴室壁に配線穴をあける

手順①で浴室壁に描いた十字線の交点を中心に、 $\Phi 30\text{mm} \sim \Phi 60\text{mm}$ の穴をあけます。



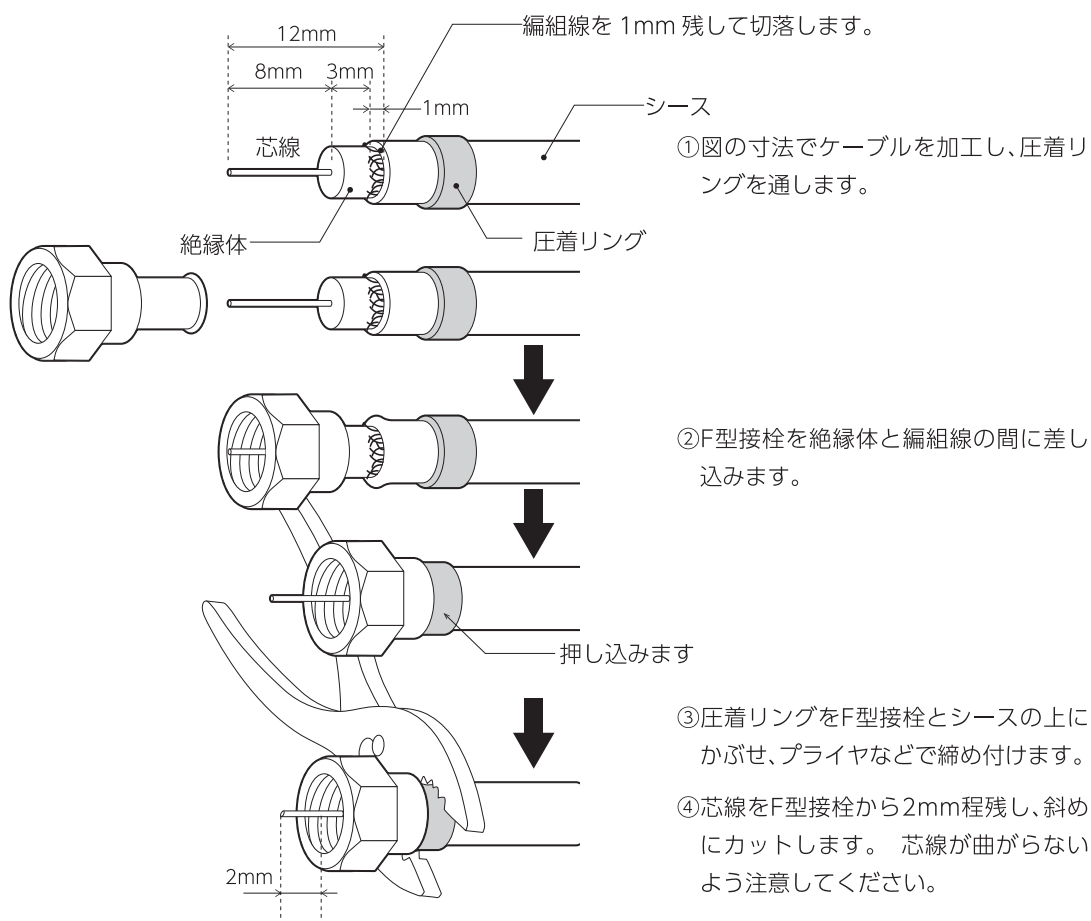
③ 各ケーブルを壁内に通線する

アンテナケーブルを準備する

【アンテナ配線時のご注意】



- F型接栓と延長アンテナケーブルは付属しません。施工業者様にてご用意ください。
- 適合アンテナケーブル(同軸ケーブル)は、S-4C-FB 以上のケーブルです。
- 信号強度は55～80dB(μV)であることを確認してください。



保護管を設置し、電源ケーブルとアンテナケーブルを通線する

壁内の他の排管からの排熱などにより、ケーブルがダメージを受ける場合があります。施工業者様の判断により、保護管(PF管)を設置してください。保護管のサイズは、ケーブル4本を通す場合はΦ28mm以上、アンテナケーブルと電源ケーブルのみの場合はΦ22mm以上のものをご用意ください。

アンテナケーブルを分配器と接続します。(4ページの図を参照)

その後、電源接続ケーブルと一緒にアンテナケーブルを保護管の中に通します。

HDMIケーブルを接続する場合

HDMI外部機器を接続できるようにする場合、付属のHDMIケーブルを壁内(保護管内)に通線し、浴室外(脱衣所など)に引き出してください。

付属のHDMIケーブルからさらに延長ケーブルを接続すると、信号の減衰により正常に動作しない場合があります。10mを超えて延長させる場合は長距離型のケーブルか、信号変換装置(中継機)が別途必要となります。お客様の判断により、別途ご用意ください。

※付属ケーブル以外での動作は保証の対象外とさせていただきます。

※HDMIケーブルは、AC100V電源線と離して設置してください。

HDMI外部機器を施工時に接続する場合、取扱説明書16～17ページを参照し、必要な設定を行ってください。

外部スピーカー・システムを接続する場合

本製品はアナログオーディオ端子(RCA)により、外部スピーカー・システムを接続することができます。

ユニットバス用の浴室スピーカー等を同時に設置する場合、スピーカーの工事説明書・取扱説明書をあわせて参照し、設置工事を行ってください。

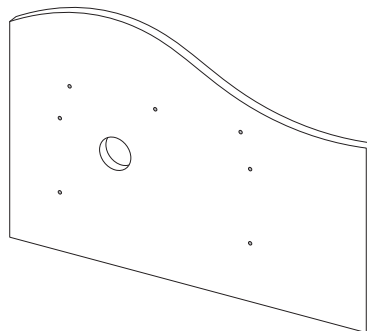
④ 取付金具を取り付ける

ネジを打つ場所に下穴をあける

取付をする浴室壁の素材や厚さ、状態により、取付金具の取付にネジまたはアンカーを使用してください。

①の手順で印をつけた位置に下穴をあけます。

付属のネジを使用する場合、下穴はΦ2.8mm～3.2mmを目安にあけてください。

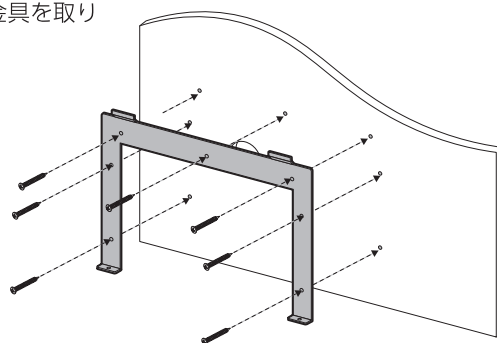


ネジを打つ場所に下穴をあける

ネジ穴にコーキング剤を注入し、ネジまたはアンカーで取付金具を取り付けます。



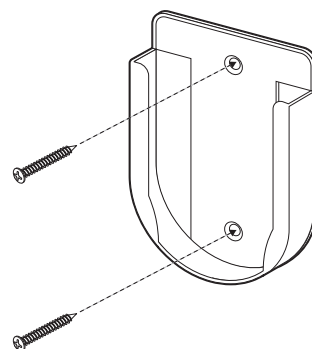
ネジが浴室壁内にある排管類を傷つけないよう、ご注意ください。



リモコンホルダを取り付けます

取り付け位置を決め、下穴をあけます。

コーキング剤を注入し、ネジで取り付けます。



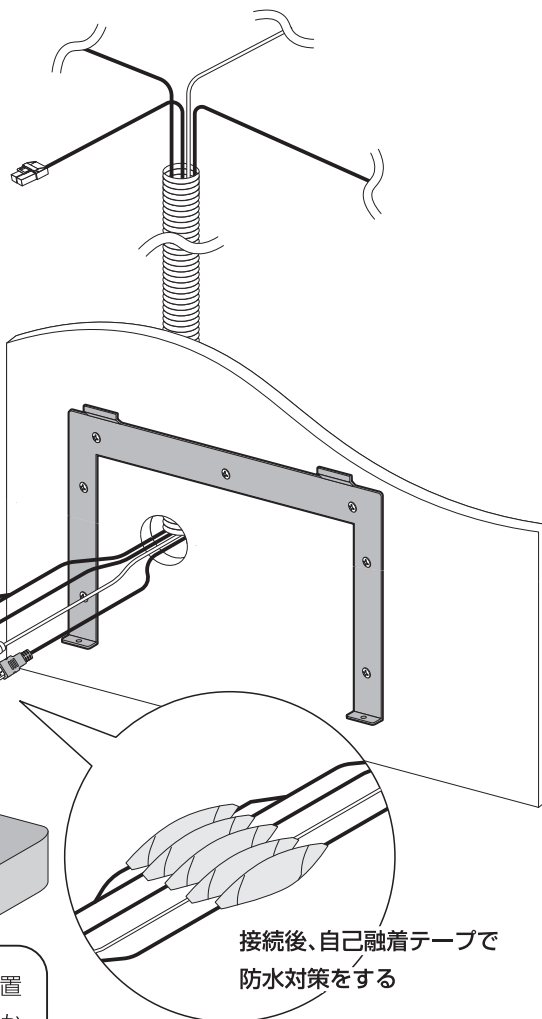
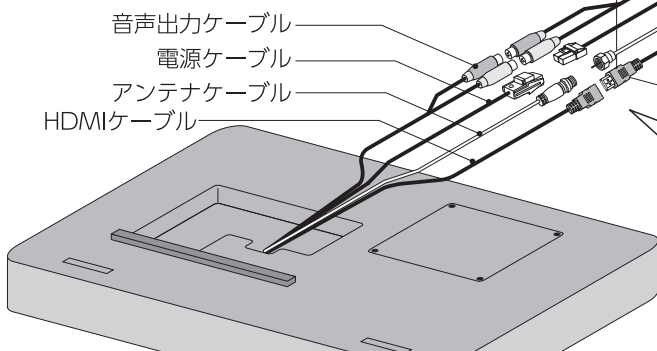
⑤ ケーブルを接続する

配線穴からケーブルを引き出す

配線穴からケーブルを200~300mm程度引き出します。
※ケーブルを強く引っ張らないでください。断線の原因となります。

ケーブルを接続する

テレビ本体背面のケーブルと接続します。
接続後、必ず各コネクタ部分に自己融着テープを巻き付けて防水対策を行ってください。
※電源ボックスへ通電した状態でケーブルの抜き差しを行わないでください。故障の原因となります。
※使用しない端子のビニール袋は外さないでください。



テレビ本体は落下の危険がない、安定した場所に置いて作業してください。また、画面表面に傷がつかないように、ご注意ください。

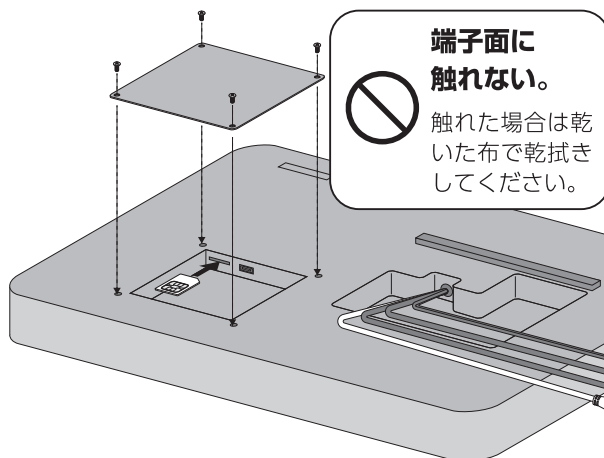
⑥ miniB-CASカードをセットする

テレビ本体背面の図の位置のネジを外し、フタを取るとminiB-CASカードスロットがあります。

「B-CAS カード使用許諾契約約款」をお客様にご確認いただき、miniB-CASカードのパッケージを開封していただいでください。(開封すると、B-CAS社との契約が成立します。)

miniB-CASカードをスロットにセットしてください。その後、フタを戻します。防水のため確実にネジ止めしてください。

※miniB-CASカードスロット横のUSB端子は保守用です。通常は使用しません。

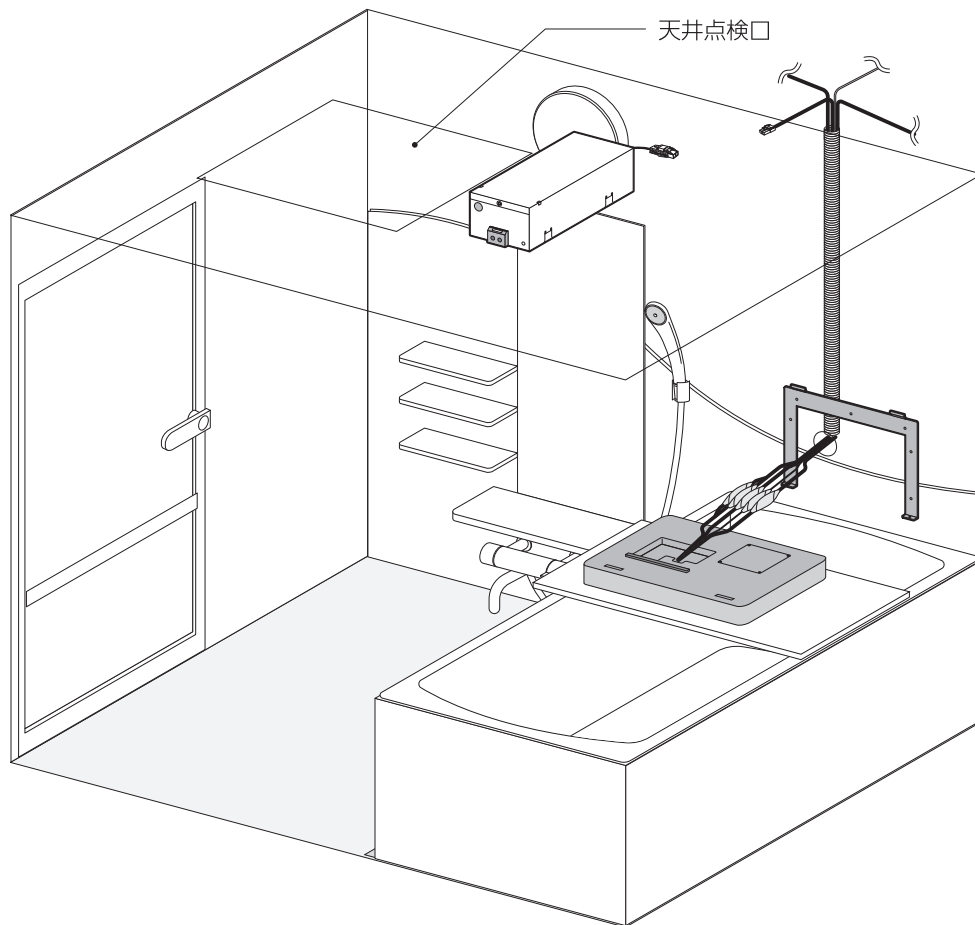


⑦ 電源ボックスを設置する

電源ボックスの設置場所について

電源ボックスは、浴室天井点検口の近くなど、点検が容易な場所に設置してください。天井に設置するスペースがない場合は、湿気やほこりの少ない、点検が容易な場所に設置してください。

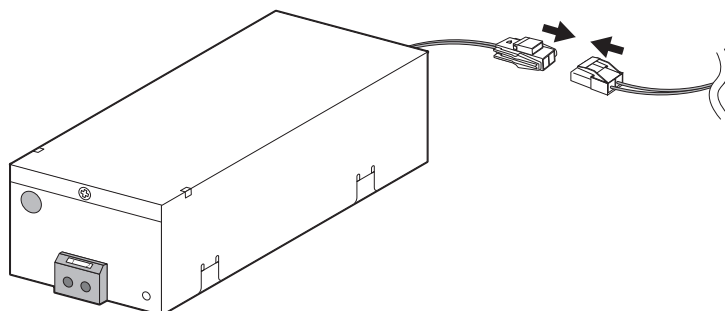
設置前に天井裏の清掃を行ってください。



工事手順

電源接続ケーブルでテレビ本体と接続する

電源接続ケーブルを電源ボックスに接続します。

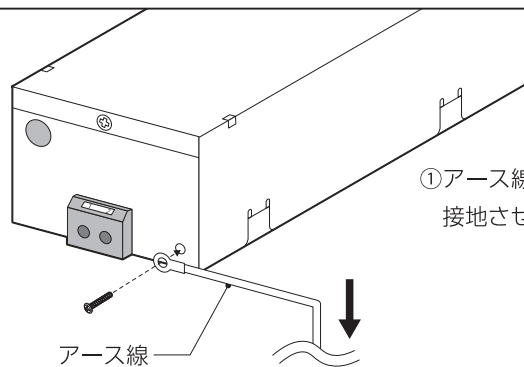


VCTFK ケーブル／アース線の接続

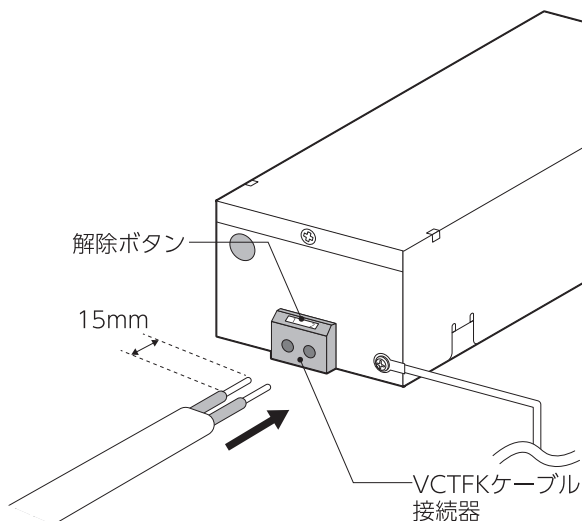
【電源ボックス設置時のご注意】



- AC100V配線工事は、必ず電気工事士の有資格者が行ってください。
- 必ず漏電遮断器、屋内開閉器のある電路に接続してください。
- VCTFKケーブルは2x0.75mm²を使用してください。



①アース線を接続します。アース線は片側を接地させてください。

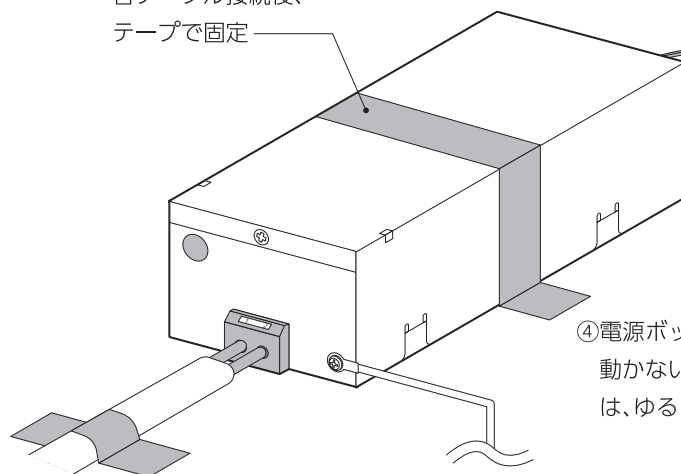


②VCTFKケーブルを芯線が15mm出るように加工します。

③電源ボックスのVCTFKケーブル接続器に奥まで差し込んでください。

※VCTFKケーブルを取外す際は、解除ボタン(白い部分)を最大2.4mmまで押し込んで抜いてください。2.4mm以上押し込むと故障の原因となります。

各ケーブル接続後、テープで固定

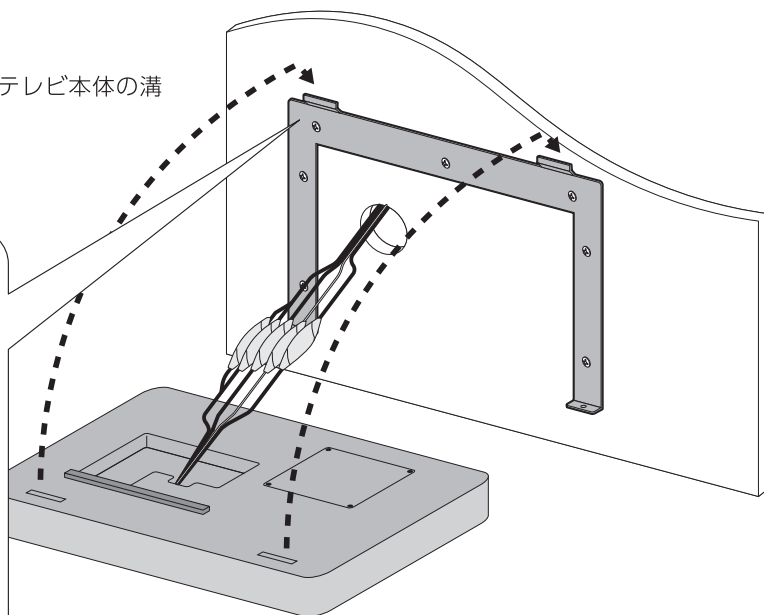
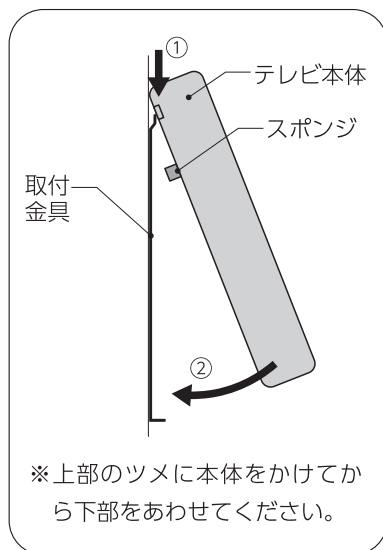


④電源ボックス、各ケーブルをテープなどで動かないよう固定します。余ったケーブルは、ゆるく束ねてから固定してください。

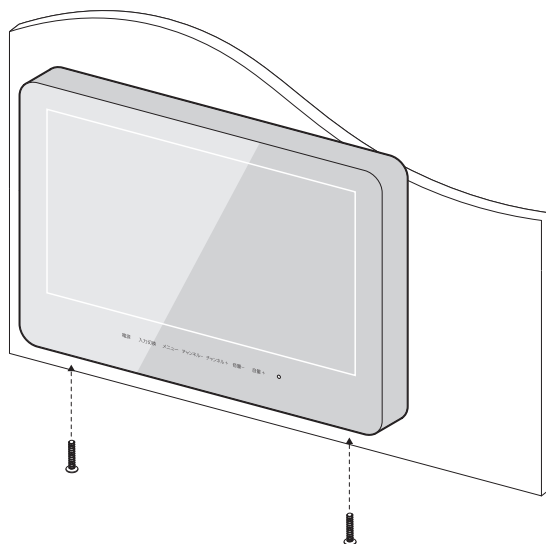
⑧ テレビ本体を仮設置し、初期設定と動作確認を行う

テレビ本体を取付金具に取り付ける

- ①取付金具の上部2箇所のカギ穴に、テレビ本体の溝を合わせて取り付けます。



- ②取付金具の下部2箇所をネジ止めします。



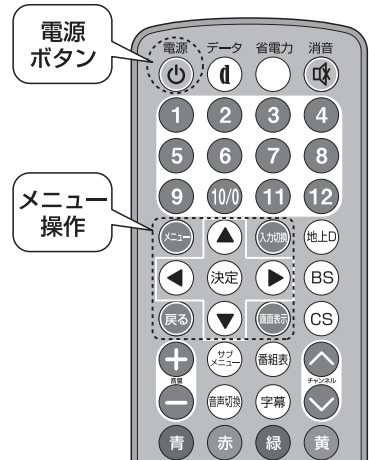
ブレーカーを「入」にします



- ブレーカーを「入」にした状態で、電源接続ケーブルを抜き差ししないでください。故障の原因となります。

電源を ON にし、初期設定を行う

- ①リモコンの電源ボタンを押します。
 - ②はじめて電源がONになると、「かんたん設置設定」の画面が表示されます。画面の指示に従い、チャンネルスキャン、地域設定などの初期設定を行ってください。
- ※取扱説明書11ページからの内容を参照してください。また、うまく受信できない場合はアンテナの方向調整(取扱説明書14ページ)も行ってください。



動作確認

初期設定が終わったら動作確認を行ってください。
下記の項目について確認してください。

項目	内容
リモコン各ボタンの確認	●リモコンの各ボタン(選局、音量、字幕、画面表示、入力切換など)が正常に機能するか確認してください。
本体タッチボタンの確認	●本体タッチボタンで選局、音量、入力切換などが正常に機能するか確認してください。
各チャンネル受信確認	●地上デジタル放送の各チャンネルが正常に受信できるか確認してください。 ●入力切換でBS、CSの各チャンネルが受信できるか確認してください。
映像の確認	●映像の色や表示領域が適切か確認してください。
音声の確認	●音が出ているか、音量が適切か、音量が調節できるか確認してください。
正常に動作しない場合	●正常に動作しないと思われる場合、取扱説明書32ページの内容をご確認ください。

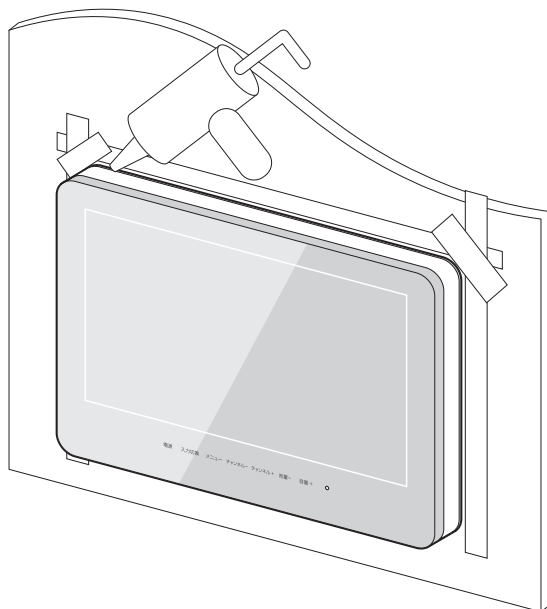
⑨ テレビ本体を取り付け、コーキングする

3 辺にマスキングテープを貼り、コーキングする

テレビ本体の上、左右の3辺にマスキングテープを貼ります。浴室側にも3辺、マスキングテープを貼ります。

●下辺は水抜きのためコーキングを行いません。

マスキングテープを貼った箇所にコーキングを行ってください。

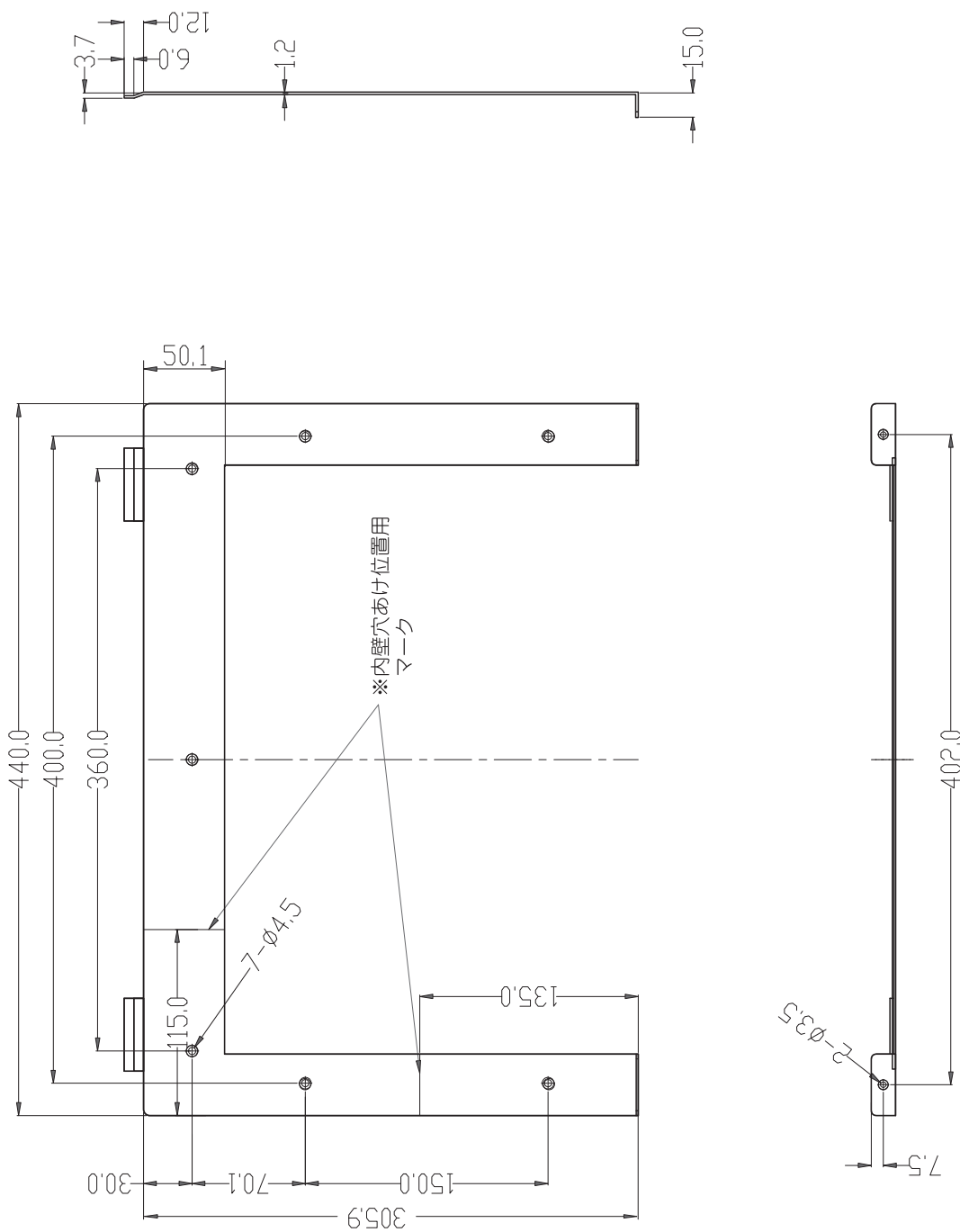


⑨ コーキング乾燥後にマスキングテープを剥がす

コーキングが乾いた後、マスキングテープを剥がします。

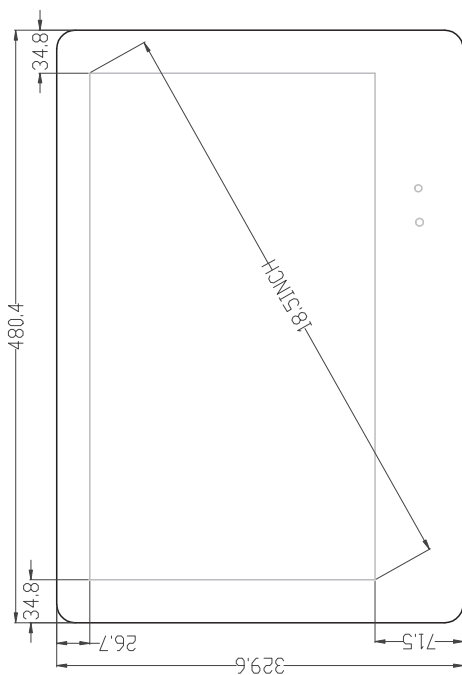
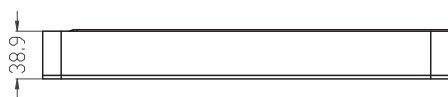
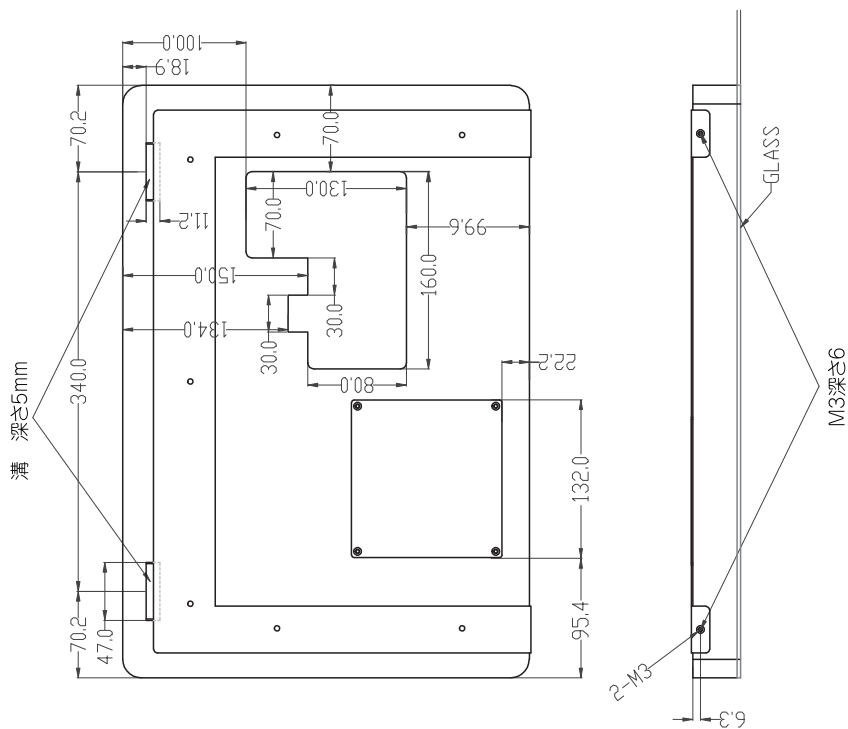
3. 各部材寸法

取付金具

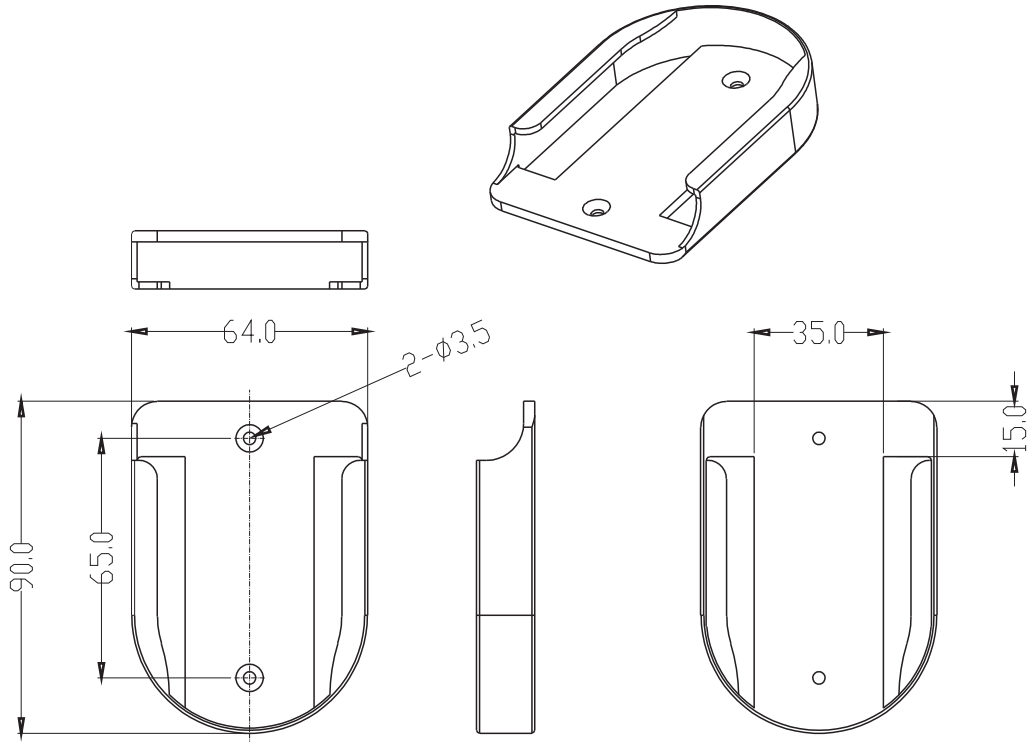


テレビ本体

各
部
材
寸
法



リモコンホルダー



各
部
材
の
注
法

発売元:株式会社アグレクション Agrexsione 

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡124-1

カスタマーセンター

 **048-940-7305**

受付時間:平日 9:00~17:00(土日祝祭日および弊社指定休日を除く)
<https://www.agrexsione.co.jp>

2022.06 第一版